





さて・・・今日は、このお話にしようね

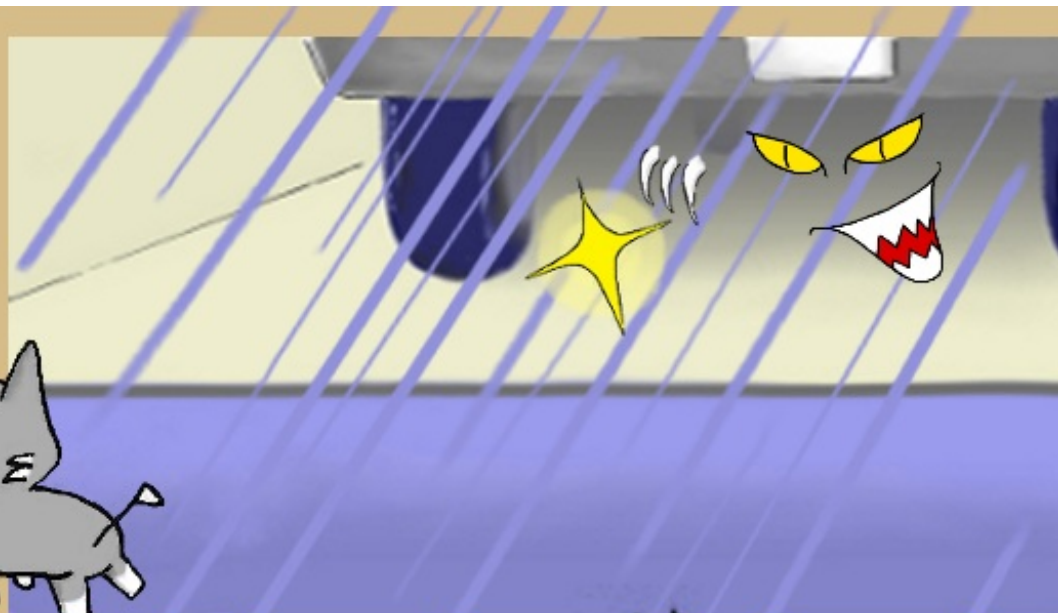
はじまり はじまり～～

子ねこは いつも昨日を夢見る

昨日に憧れ、昨日に戻りたいと願っている...



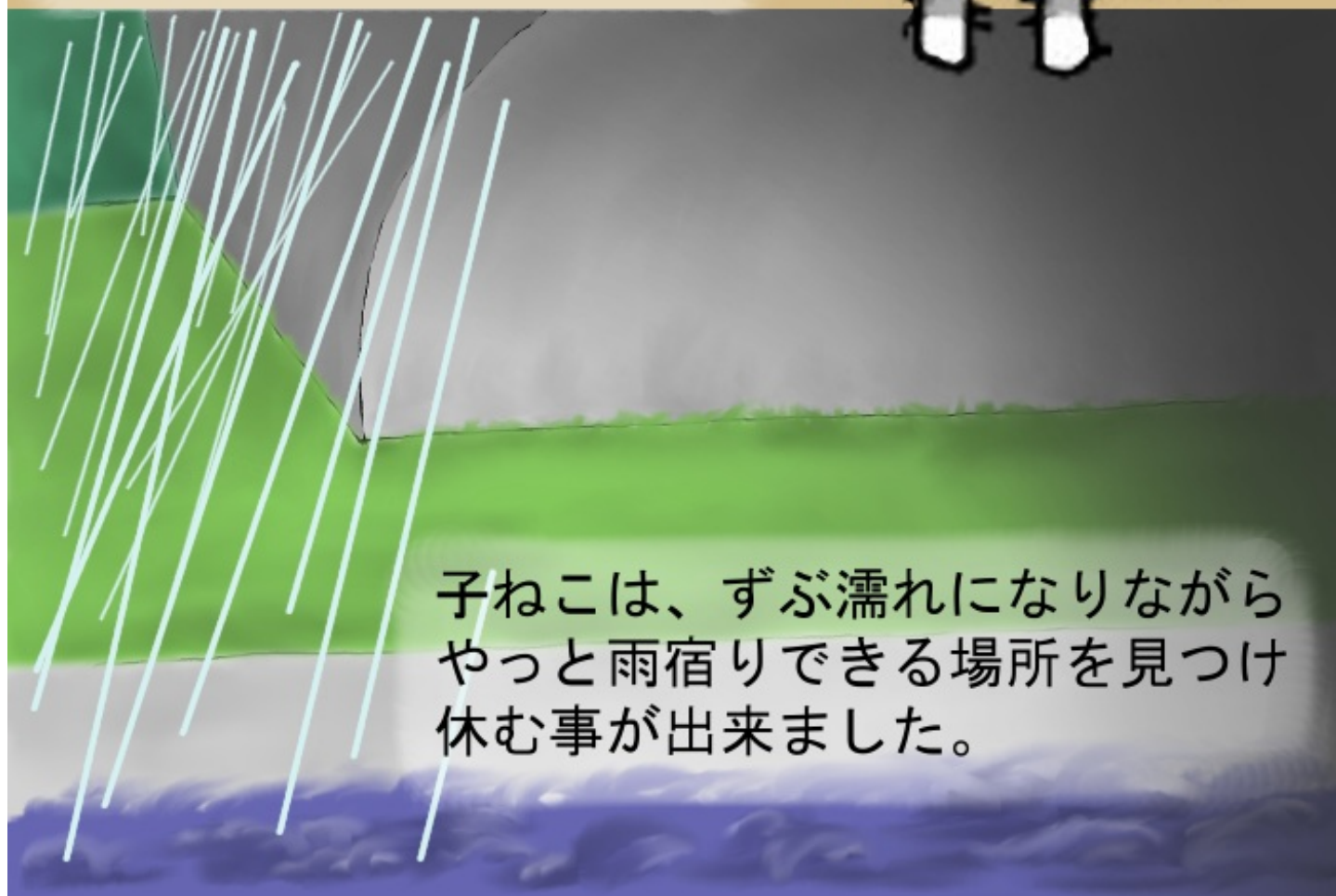
子ねこは、いつも一人ぼっち。
生まれた時から一人ぼっち。
親もいません。
いつもお腹はペコペコ。食べ物を見つけても
他のネコに捕られてしまいます。

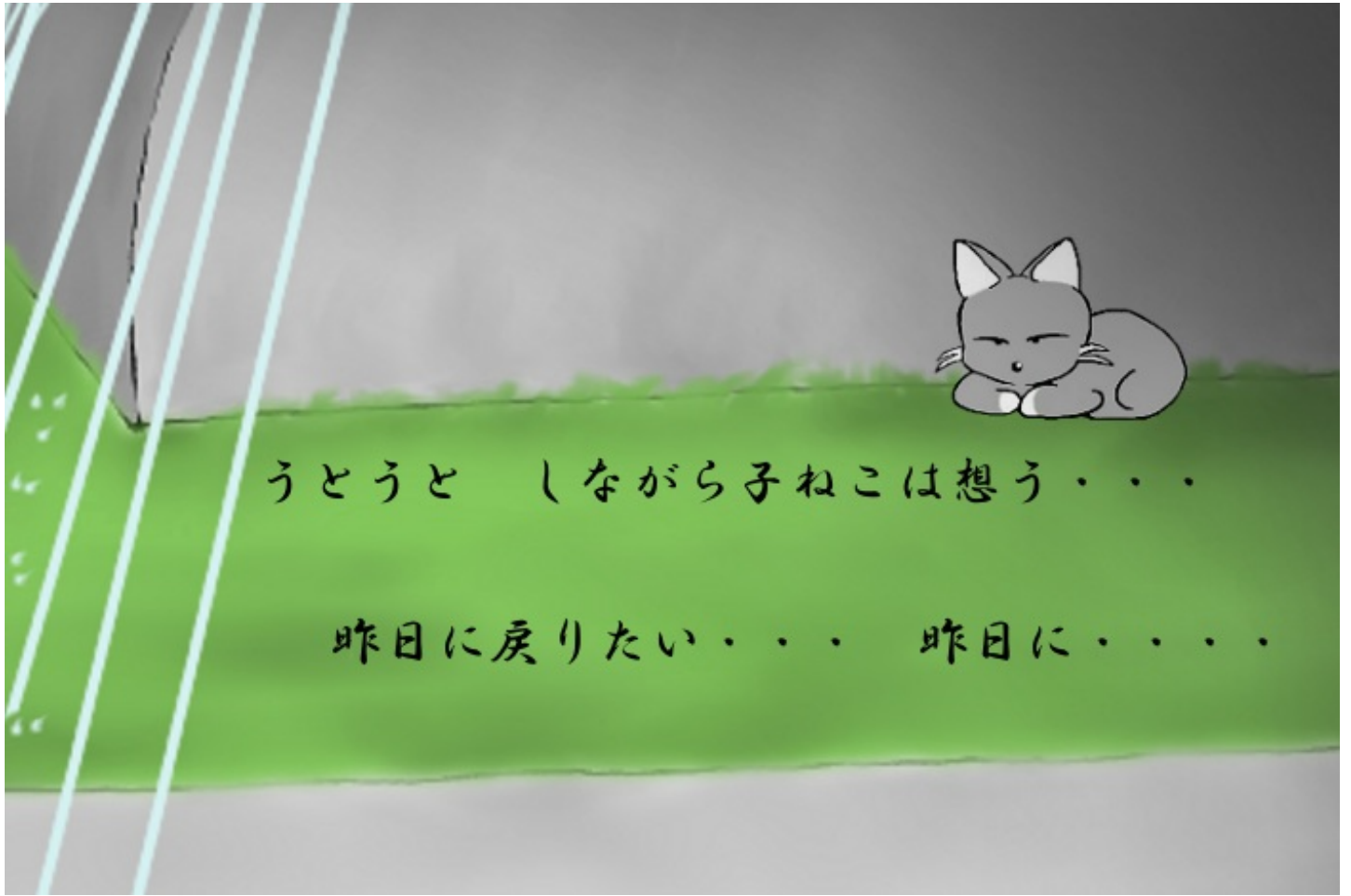


雨が降ってきました。
雨宿りしようと思った所には
先客のネコが目をギラギラ
させて、子ねこを睨みつけて
います。



子ねこは、ずぶ濡れになりながら
やっと雨宿りできる場所を見つけ
休む事が出来ました。





昨日に戻れたら ちゃんと食べ物も捕れるのに・・・

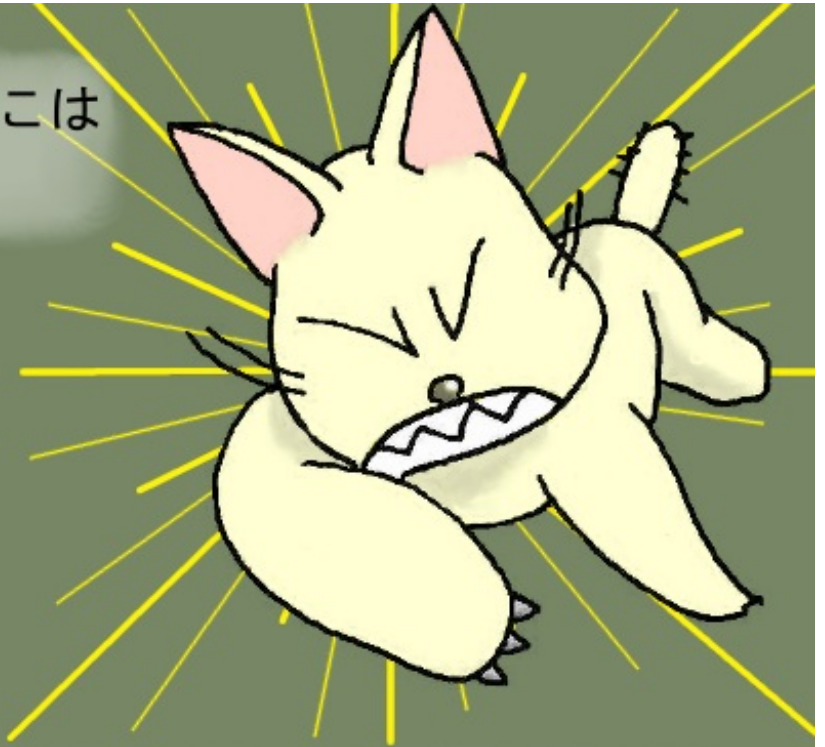
昨日に戻れたら もっと早く雨宿り出来たのに・・・



子ねこはいつも 昨日を夢見る

休んでいると突然、子ねこは大きくて白いネコに襲われました。

「ここはオレの
なわばりだ！
出て行け！！」



子ねこは慌てて、その場を逃げ出しました。引っ掻かれて足に怪我を負いました。



子ねこは いつも昨日を夢見る

昨日に憧れ、昨日に戻りたいと願っている...

しばらくすると、子ねこの傍に
大きくて白いネコが近づいて来ました。

「あの時は、引っ掻いてゴメンね。大丈夫かい？」

「・・・・・・・・ うん」

「お前・・・ 親はいないのかい？」

「・・・・・・・・ うん」



「・・・お腹減っているだろ？ さあ・・・食べな」

「・・・・・・・・ うん」



子ねこは少し安心しました。
大きくて白いネコが優しくかったから。



「明日は何をするんだい？」

「・・・ わからない」

「これから どこへ行くんだい？」

「・・・ わからない」



「何か・・・ したい事は、ないのかい？」



「・・・・・・・・・・・・・・・・」



「僕は・・・ 昨日に戻りたい・・・・・・・・」

「昨日に？」



「昨日に戻れたら・・・ 僕は失敗しないさ。

ちゃんと食べ物も捕れているよ。

寝るところも間違えない。違う町にも行けていたさ」

「僕は 昨日に戻りたい」



大きくて白いネコは言いました

「昨日になんて、行けないさ」

「昨日は何の為に あるか知っているかい？」



「・・・・・・・・わからないよ・・・・・・・・」



「昨日はね…… 今日何をするかを

俺達に教える為にあるんだ」





「お前は、昨日に明日を見ているんだね
でもね、やっぱり明日は今日の次なんだ」

「明日を変えられるのは、今日だけなんだ」

「それに、もし昨日に戻ったら、俺達はこうやって
一緒には居ないかもしれない」

「一人ぼっちの お前に必要なのは、昨日に戻る事じゃない・・・

俺みたいな友達が必要なのさ！」



その晩、子ねこと大きくて白いネコは
寄り添って仲良く寝ました。



子ねこは、大きくて白いネコと 明日どこへ行こうか
そんな事を思いながら、ゆっくりと眠りにつきました

おちまい 